



みんなで楽しく、ときに厳しく！

(港南中学校卓球部 12月19日) ※14ページに関連記事を掲載

# いよ

# 令和5年 冬号

# 議会だより

## 12月定例会

【常任委員会報告】有害鳥獣総合捕獲事業  
今年度の捕獲数の見込みは？

2

一般質問 8人が市政を問う

4

【議会からのお知らせ】  
議会報告会を開催します！

13

【きらきら・部活い〜よ⑤】  
港南中学校 卓球部

14

No.71 2023年2月1日 発行  
編集／議会広報調査特別委員会



# 今年度の捕獲数の見込みは？

## 約1800頭となる見込みである



箱わなで捕獲したイノシシ

### 産業建設委員会

施設園芸燃料価格高騰  
対策支援事業費補助金

伊予港海岸防潮対策  
(尾崎地区)

有害鳥獣総合捕獲事業  
費補助金

**問** 令和3年度と比較し  
て、今年度の捕獲数  
の見込みは。

**答** 農業振興課

令和3年度のイノシシの捕獲数は、9月時点では約560頭で、最終的には、約1200頭となった。今年度は、9月時点で約870頭であることから、昨年度実績で換算すると、最終的には約1800頭となる見込みである。

**問** 交付対象者には、J  
A以外の出荷者も含  
んでいるのか。また、燃料代  
リットルあたり5円の積算根  
拠は。

**答** 農業振興課

対象者は、約65世帯分を見込んでおり、JA以外の出荷者も含んでいる。燃料代の積算根拠については、令和3年10月から令和4年5月までの重油の平均単価を参考に算出し、国のセーフティーネットの発動単価である81・6円を上回った部分の7割相当分を積算根拠とし、令和4年10月から令和5年1月までの購入分を対象としている。

**問** 防潮堤建設のための  
ボーリング調査と測  
量設計を実施すること  
だが、今後の予定は。  
また、北山崎海岸と同じ  
工法なのか。

**答** 土木管理課

ボーリング調査の業者は、2者決定しており、作業期間は3か月程度を計画し、今年度内に完了する予定である。今後、ボーリング調査結果を基に、次年度以降の実施設計で北山崎海岸と同じ工法でいけるかどうかの検討を行う予定である。

## 空き家相談窓口開設準備業務委託料

**問** 空き家対策の推進に  
関する協定を締結し、令和5年4月より、空き家相談窓口を開設するための費用とのことだが、相談窓口の設置場所と、今後、市を含めた協定の関係団体は増える可能性はあるのか。

**答** **都市整備課**

相談窓口の場所については、大平にある「NPO法人空き家サポート伊予」の事務所に開設する予定である。協定の関係団体については、今後、相談等を実施していく中で必要が生じれば、増えていくものと考えている。

「NPO法人空き家サポート伊予」の事務所に開設予定の相談窓口



## 総務委員会

**問** 庁内ネットワークシステム機器移設業務

**答** 有事の際、IYO夢みらい館2階の会議室を市業務のサテライトオフィスとして使用するための環境整備に係る経費ということだが、具体的な内容は。

**答** **企画政策課**

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う職員の分散勤務及び災害発生時の混乱を避けるために、サテライトオフィスとしての業務継続を想定して今回整備を行うこととした。

## マイナポイント

**支援事業**

**問** 市庁舎1階に設置しているマイナポイント支援窓口の来訪者の状況と設置効果は。

11月末までに窓口を訪れた方は3931人で、1日平均では40人という状況である。マイナポイントの申込期限が迫る中、特に11月下旬頃から来訪者が急増していることから、会計年度任用職員の増員と併せて他部署からの応援も得ながら対応に当たる予定とし、窓口の設置は大きな効果を上げていると考えている。

**答** **企画政策課**

11月末までに窓口を訪れた方は3931人で、1日平均では40人という状況である。マイナポイントの申込期限が迫る中、特に11月下旬頃から来訪者が急増していることから、会計年度任用職員の増員と併せて他部署からの応援も得ながら対応に当たる予定とし、窓口の設置は大きな効果を上げていると考えている。



来訪者急増により、会計年度任用職員を増員し、対応するマイナポイント支援窓口(市庁舎1階)

## 民生文教委員会

伊予市児童センター「みんくる」の指定管理者の指定

**問** 1者の応募というところだが、選定委員会で、どのような評価を得たのか。

**答** **子育て支援課**

応募者は、現指定管理者である株式会社縁遊で、運営内容が子どもたちに非常に人気で、また、勤務体制を非常に細かく計画している点も高評価であった。

**問** 中高生が利用しやすい環境は。

**答** **子育て支援課**

施設内に体育館があり、バスケットボールやバレーボールをすることが可能である。また、休日にボランティアとして携わってもらい、将来児童厚生員として児童センターで働きたいという夢を持てるよう、中高生のボランティアの育成事業にも非常に力を入れている。

## 社会福祉施設等価格高騰重点支援金

**問** 支援金の支給単位と金額は。

**答** **長寿介護課**

福祉サービス種別ごとに支給を考えている。介護老人保健施設や認知症対応型共同生活介護などの入所系については20万円、通所介護や通所リハビリテーションなどの通所系については10万円、居宅介護支援や訪問介護などの訪問系については5万円を支給する。

**問** 支給対象施設の要件は。

**答** **長寿介護課**

まず、医療・福祉施設等であって、令和4年12月16日時点で伊予市に所在地があり、かつ、法令に基づき、国・県または市・町が認可、もしくは指定等しているという2つの要件を満たす施設・事業所が対象となる。



# 一般質問

# 8人が市政を問う

12月定例会では、8人の議員が26問の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。全質問項目は下表をご覧ください。5ページから質問した議員ごとに2問の質問を要約してお伝えします。

なお、全文記録(議事録)は2月上旬に市ホームページ(<http://www.city.iyo.lg.jp>)の会議録検索システムにて掲載しますのでご覧ください。

※本人写真については、アクリル板越しの撮影であるため、機器の写りこみ等がありますがご了承ください。

伊予市議会



**金澤 功 議員(P5)**

- 1 市指定避難場所への避難経路の整備事業の進捗について
- 2 防災・減災対策としてのため池の廃止・再開発計画等の策定について
- 3 伊予市上水道事業と簡易水道事業との事業統合等について

**正岡 満 議員(P6)**

- 1 伊予市資源ごみ回収活動事業について
- 2 上吾川市ノ坪「一休ひろば」について
- 3 伊予市公営住宅である白水住宅の今後について

**門田 裕一 議員(P7)**

- 1 本市の障がい者福祉サービスについて
- 2 伊予市で免疫力のメンテナンスを
- 3 小中一貫教育について

**田中慎之介 議員(P8)**

- 1 伊予市の小・中学生に最新の教育環境を作ろう
- 2 若者世代が集える場を作ろう(公民館の活用を)
- 3 レンタサイクル利用促進のための取組について

**川口 和代 議員(P9)**

- 1 8月の女性議会より
- 2 市制20周年記念事業
- 3 細やかな子育て

**大野 鎮司 議員(P10)**

- 1 烏ノ木地域の迅速な避難や健康福祉のため八反地川に人道橋を(パート7)
- 2 3万人が住み続けられる伊予市(教育編)
- 3 マイナンバーカードについて
- 4 狭あい道路について
- 5 伴走型子育て支援について

**平岡 清樹 議員(P11)**

- 1 市職員の社会貢献活動に関する兼業促進について
- 2 SDGsを掲げる伊予市の粗大ごみリユースについて

**森川 建司 議員(P12)**

- 1 開業記念イベントの支援について
- 2 放課後子ども教室(伊予小校区)運営事業の存続について
- 3 南伊予地区に公園を
- 4 コロナワクチンによる重篤な副反応の実態等を踏まえた対応を

## 『色付きの質問』

は、次ページ以降に掲載しています！

3月定例会の日程は2月初旬頃にホームページで掲載予定です。広報いよし2月号でもお知らせします。



たにもと議長

※通告順(発言順)に掲載しています。

# 市道宮田東新川線(避難経路)の整備

## その後の進捗状況は？

金澤 功 議員



(答弁)市から設置希望があれば  
検討する(県)



問

令和3年9月、令和4年6月議会の2回にわたり、避難距離の短縮と分散避難を可能とするため、市道宮田東新川線(伊予農高西側)の避難経路整備について質問した。津波等の災害の防災・減災対策の一番重要な点は、インフラの整備だと認識している。学校や施設の管理者である県との協議など、その後の進捗状況は。

答

県教育委員会と協議を行った結果、現時点の見解として、「学校西側はブロック塀やフェンスがなく、架橋等により新たな入口を整備することにより、門扉を設置するにしても不審者等の進入が容易になり、防犯上の観点から好ましくない。また、生徒や保護者からも、入口の増設等について要望は出ていない。これらの点を踏まえ、学校管理者としては

学校西側の入口整備は考えていないが、当校は避難所に指定されていることも十分認識している。生徒の安全確保の観点から防犯対策上の課題はあるものの、市からの設置希望があれば、協議検討させていただく。」との回答を得ている。



市道宮田東新川線(右手が伊予農業高等学校)

問

今まで講じてきた策により、想定死者数の減少等、防災・減災対策等の事業に対する想定効果は。また、将来想定死者数を何割減少させるのかの目標設定は。

答

「えひめ震災対策アクションプラン」実施による結果として死者数8割減

という目標を達成しようとするものであり、個別の事業ごとに効果を算出しているものではないことをご理解いただきたい。

### 防災・減災対策として のため池管理

問

防災重点ため池を中心とした道後平野土地改良区水利事業との重複利水事業の状況及び利活用調査を実施しては。

答

調査は行っていない。

重複利水事業の状況や利活用についての調査は行っていないが、今後、地元関係者からの意見や防災・減災の観点などを踏まえ、ため池の利活用について検討したい。

問

防災・減災対策としてのため池の廃止・再開発計画等を策定しては。

答

地元関係者等と検討を進めたい。

「ため池廃止及び再開発の計画」については、地元要望のあったため池について、維持管理や老朽化の状況、決壊時の下流域への影響など踏まえたうえで、廃止に向けての手続きや工事を進めているが、水利権や土地改良区との協議など、様々な手続きが必要であることから、一部のため池にとどまっている。今後については、地元関係者や各関係機関と計画策定に向けての検討を進めていきたい。

### かなざわ議員の「もう一言！」

伊予市地域防災計画の中で、被害死者数を557人と想定し、「誰一人取り残さない」をスローガンに防災・減災の対策を講じていると信じていますが、防災・減災の究極の目標は、想定死者数をいかに減少させるかです。そのためにも、避難経路整備事業等インフラの整備はスピード感を持って進めることが肝要です。



# 回収手数料を改定しては？

正岡 満 議員



**(答弁) 現時点においては  
現単価が妥当である**



## 問

資源ごみ回収活動事業が始まった目的は、再生利用可能な資源ごみの回収を自主的に

行う市内ボランティア活動団体及びコミュニティ活動団体に対し、その活動を奨励し、ごみの資源化と減量化の推進並びに意識の高揚を図るものであり、大変意味のある事業である。

伊予市全体においても多くの団体が参加されていると聞いており、その団体の活動内容は、様々だと思われるが、地域社会のコミュニティが薄れつつある昨今においても、この事業は大事であると考えます。

上吾川地区においても7団体が参加しており、その中で世帯数150戸の松本地区では、平成19年度から参加し、年に4回の回収活動を実施している。地域のコミュニティを図るうえで、この活動は行っていく予定である。

り、そういった活動を支える意味においても、今後、この事業のさらなる充実をお願いしたい。

そこで回収にかかる手数料を現行の1kgあたり3円から上限額の5円へ移行しては。



松本地区(上吾川)の回収活動の様子

## 答

本事業の開始当初の平成8年度は1kgあたり5円の手数料であったが、平成16年度から現在の1kgあたり3円の手数料に変更された。

近年、県内を含め全国的には、集団回収への支援を行っていない自治体が増えてきているが、本事業が地域コミュニティ

活動を継続するうえで大きな役割を果たしていること、資源の再利用などの啓発にも繋がることなどを踏まえ、今日まで事業継続を図ってきたところである。これらのことから、現時点においては、現単価が妥当であると考えているが、今後も財政状況や古紙価格などを注視しながら、必要に応じ、適正な単価設定に努めていきたい。

### まさおか議員の「もう一言！」

参加団体数等、本市の現在の状況を確認したところ、令和4年11月末時点で、申請件数は111件、資源回収量は143トン、交付済み手数料は約42万8,000円、回収活動の実施団体数は40団体ということでした。



## 市営白水住宅の今後

**問** 本市は638戸の市営住宅を管理し

ており、令和3年度から「伊予市公営住宅等長寿命化計画」のもと、さらに維持管理に取り組んでいくとのことであるが、その中の一つとして、白水住宅においては建設から60年近くが経過している。入居率と維持管理状況、それに伴う今後の対策は。

## 答

現計画に基づき、令和12年度以降に検討していきたい。

入居率は、管理戸数24戸のうち9戸に入居しており、入居率は37・5%となっている。維持管理状況は、入居されている住宅は通常修繕を、住宅解体後の空き地は草刈り等を行っている。白水住宅の今後については、現計画に基づき、令和12年度以降に立地条件やストック状況等を踏まえ検討していきたいと考えている。



# 「免疫力」をキーワードに 本市の新たなブランド確立を！



門田 裕一 議員

(答弁)現時点で検討に至っていない



**問**

免疫のシステムは体中に張りめぐらされているが、何らかの理由でバランスを崩すと、自分でないものに過剰に反応したり(花粉症など)、本来は攻撃して

はいけないものに対して攻撃したりするようになる(関節リウマチなど)。免疫力を整える力の一つが、「食・栄養」と言われている。

神奈川県相模原市は、市民の免疫力を高めるポイントを紹介した「健康づくりリーフレット」を配布している。本市も免疫力というキーワードで動画やパンフレット、アプリを導入して差別化を図り、新たなブランドを確立しては。

**答**

免疫力をキーワードとした動画やパンフレット、アプリ導入などの事業展開や本市のブランド確立について、現時点で検討するには至っていない。先の食育

## かどた議員の「もう一言！」

伊予市は自然の恵みが宝のようにあり、免疫力を整えるにふさわしいまちです。かつおだし、そして、フルーツの王様と言われるほど栄養価が高いキウイフルーツ、がん予防に中山町のしいたけ、アトピー性皮膚炎なら抗アレルギー作用のあるピーマン。すべて伊予市とれる新鮮な野菜。今こそ、免疫力を整える大切さを学び、市民の皆様が健康でハツラツとできる仕組みとアプローチが必要ではないでしょうか？



推進計画における計画期間の終期である令和6年度を踏まえ、次期計画の中で「健康と免疫力」や「食事と免疫力」について、どのように位置づけていくのかを協議し、市民に今一度、生活の基本について見直しを提案する良い機会となるように努めたい。



愛媛県のキウイフルーツの生産量は日本一で伊予市は県内一の生産量です。

**障がい者福祉サービス**

**問**

令和4年7月に県医療的ケア児支援センターが開設された。

医療的ケア児(人工呼吸器や胃ろう等を使用し、医療的ケアが日常的に必要な児童)は、全国で約2万人、県内で約200人いるとされている。本市における医療的ケア児と家族への支援の取組は。

**答**

コーディネーターを2名配置している。

医療的ケア児等コーディネーターを、健康増進課・福祉課それぞれに1名を配置している。医療的ケア児と家族に対し、必要なサービスなどをプッシュ型で紹介し、必要に応じて関係機関へ繋ぎ、本人や家族の意思が最大限尊重されるよう、多様な選択肢を提供できる体制を構築している。

**問**

障がいのある子どもが18歳を迎えるとき、安心して地域で暮らせるためには、保護者の不安、悩みを一つ一つ丁寧に取り除くことができない細かなサービスが必要と考える。本市の取組と考える。

**答**

引き続き、現サービスの質向上に努めたい。

障がいのサービスのうち、児童発達支援や保育所等訪問支援、放課後等デイサービスなどがあり、障がいの者のサービスには、居宅介護や生活介護、就労継続支援などがある。さらに、障害福祉サービスの利用者一人ひとりに対し、相談支援専門員が寄り添い、切れ目のないサービス利用に繋げるよう努めているが、引き続き、保護者の不安解消に資する現サービスの質的向上に努めたいと考えている。

# 1人1台タブレット端末の有効利用 毎日持ち帰り、毎日利用を！



田中 慎之介議員

## (答弁) 合理的かつ効果的な持ち帰りに 配慮する



**問** 4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果で、1人1台タブレット端末の利用状況について、地域や学校によって大きな差が見られた。国はこうした事例を踏まえ、改善を進める必要があることを通知している。東京都は「毎日持ち帰り、毎日利用」の割合が40%を超えており、GIGAスクール構想の実現により都心部と地方の教育格差が是正されること期待されていたのに、さらに広がってしまったのではないかと心配である。

**答** 本市は、「毎日持ち帰り、毎日利用」の割合を少なくとも全国平均を上回るように、目指すべきでは。

**答** せっかく導入したタブレット端末で「毎日持ち帰り、毎日利用」が有効利用の視点からすると理想かもしれないが、重さ1kgを超える端末は年齢・体格・通学距離により、一部の児童にとっては、身体への負担も気になるところである。こうしたことから、市内の学校が一律に「毎日持ち帰り、毎日利用」を目指す訳ではなく、端末更新時における軽量化を見据え、当面は授業と宿題の関連性を意識しながら、合理的かつ効果的な持ち帰りとなるよう、配慮したいと考えている。

**問** 本市の状況調査の結果は。

**答** 中学校は県・全国とも上回っている。

小学校における「毎日持ち帰り、時々利用」に該当するのは1校で、9校中1校の11・1%となり、県の平均を下回っているが、残りの8校全てが「時々持ち帰り、時々利用」と回答している。一方、中学校では「毎日持ち帰り、毎日利用」

と「時々利用」に4校中2校が該当していることで50%となり、全国平均の28%、県平均の42・8%もともに上回っている。

### 若者世代が集える場を作ろう

**問** 先日、宇和島市の中央公民館「ホリバタ」を視察した。

高校生を対象に実施したアンケート調査で、「卒業後に宇和島市に住みたくない」と答えた生徒が72%という結果を受け、現状を打開すべく青少年を支援する事業の実施を決意したそうである。事業の目的は2つ。「人づくり」と「地域づくり」である。青少年と地域との「愛着」や「つながり」を育むことで、まちに残っても離れても、そのまちを思い活動できる人、活動人口を増やす目的で実施されている。本市も青少年たちにとっての「サードプレイス」が必要では。

**答** 文化交流センターをサードプレイスとして目指す。

本市には中央公民館施設はないが、伊予市文化交流センターがあり、現在図書館をはじめスタジオや学習コーナーなど多くの若者に利用いただいている。市民団体等との協働による事業やイベントの計画、また、現在コロナ禍のため利用を制限しているIYOラウンジをはじめ、多目的室などの有効的活用の検討を行い、青少年が気軽に利用集える場であるとともに成長をサポートするサードプレイスとなることを目指したい。

### たなか議員の「もう一言！」

青少年たちが、伊予市への自信や誇りを持つことができることを、青少年たちが成長をサポートすること。2050年も伊予市が「3万人が住み続けられるまち」であるためには必要な事業ではないでしょうか？





8月の女性議会の声を繋ぐ

# 防犯カメラ付き防犯灯を！

川口 和代 議員



## (答弁) 広報区長等の見解や要望などに留意する



### 問

8月の女性議会での10人の女性議員の一般質問にヒントをもらい、5つの質問をした。  
① 事故や事件の早期解決や不法投棄を防ぐためにも「防犯カメラ付き防犯灯」は有効ではないかと考えるが、設置の予定は。  
② 1世帯に1個の災害用携帯トイレを配布して、家庭での避難用リュックを作るきっかけにしてはどうか。  
③ 市内に有料で管理をしつかりした「ドッグラン」を整えてはどうか。  
④ 双海地区に特別支援学級の開設を切に願う。県への強い要望をお願いしたい。  
⑤ 介護認定を受けていない高齢者が住み慣れた家で生活するための手すりや踏み台、スロープを設置する場合、伊予市独自の「予防住宅改修助成」はできないか。

### 答

① 防犯灯の設置及び維持管理は地元広報区が行っており、市は広報区に対してその費用を補助している。個人情報保護の観点から、設置者である広報区に一定の責任も発生するため、広報区長等の見解や要望などに留意していく。  
② 配布したとしても、廃棄や押し入れの隅に保管されるという事態も考えられるが、家庭での備蓄を推進している非常持ち出し品の一つであるため、防災訓練や自主防災活動等の場面で周知啓発が必要と考える。



### 答

今後協議を重ねる。

令和5年度からスタートする定年延長制度に伴い、孫の世話を必要とする職員が増加することも予想される。

子育てに悩む様々な環境に柔軟に対応した支援策を積極的に打ち出していく意義は非常に大きいものと考えている。

安心して子育てができる伊予市づくりの見本となるよう、来年度早々に開始したいが、今後協議を重ねていきたい。

### 伊予市職員に孫育て休暇を

### 問

定年が65歳に引き上げられることに伴い、在職中に孫を持つ職員が増えてくるのではと考える。民間の企業にも波及すると考えるが職員に孫育て休暇を取り入れてはどうか。

### かわぐち議員の「もう一言！」

今回の質問では、そのほかに、2025年(令和7年)市制20周年記念事業についてと題し、市民の参画協働による記念事業をお願いしました。



# 不登校の生徒・児童に対する学習支援 授業のオンライン配信を！

大野 鎮司 議員



(答弁) 希望に応じて実施している



**問** コロナ禍において不登校などで悩む家庭が急増していると、新聞、マスコミ等のニュースをよく目にする。

コロナ禍における「経済的ダメージ」とともに地域コミュニティの衰退や不登校、高齢者の孤立、ひきこもりなどの「心のダメージ」も徐々に表面化してきたのではないかとと思う。

不登校の生徒、児童に対して、授業のオンライン配信をしてはどうか。

学習支援としては、内容的に少し足りない部分はあるが、クラスメイトの雰囲気も分かり、一歩前進の足掛かりになるのでは。

**答** 学習支援は本人と保護者の実情・希望に合わせて、方法や実施頻度を相談して決定し、個に応じた対応をとっている。具体的には、学習プリント・タブレット

端末による学習課題等の提供、板書画像の送信等々の多様な支援を実施している。

授業のオンライン配信については、希望に応じて実施しており、通信環境未整備の家庭へは、ポケットWiFiの貸し出しを行っている。しかしながら、これに慣れることで登校する必要性を感じなくなることを保護者が心配し、遠慮されるケースもあるため、児童生徒の状況や家庭の考えを踏まえて、一つひとつ慎重に対応しているところである。

授業のオンライン配信については、希望に応じて実施しており、通信環境未整備の家庭へは、ポケットWiFiの貸し出しを行っている。しかしながら、これに慣れることで登校する必要性を感じなくなることを保護者が心配し、遠慮されるケースもあるため、児童生徒の状況や家庭の考えを踏まえて、一つひとつ慎重に対応しているところである。

授業のオンライン配信については、希望に応じて実施しており、通信環境未整備の家庭へは、ポケットWiFiの貸し出しを行っている。しかしながら、これに慣れることで登校する必要性を感じなくなることを保護者が心配し、遠慮されるケースもあるため、児童生徒の状況や家庭の考えを踏まえて、一つひとつ慎重に対応しているところである。

授業のオンライン配信については、希望に応じて実施しており、通信環境未整備の家庭へは、ポケットWiFiの貸し出しを行っている。しかしながら、これに慣れることで登校する必要性を感じなくなることを保護者が心配し、遠慮されるケースもあるため、児童生徒の状況や家庭の考えを踏まえて、一つひとつ慎重に対応しているところである。

## おおの議員の「もう一言！」

本市の小・中学校で10月末時点における、4月から病欠等を除く欠席の累計が30日を超える児童は9名、生徒は40名で、保健室等の別室登校している児童は18名、生徒は4名で、不登校とその傾向のある児童生徒数を合わせると児童は27名、生徒は44名います。不登校の問題は本人・家族にとって大きな悩みです。少しでも改善できるような支援策を期待します。



**問** 不登校となり、一番つらいのは本人だと思うが、家族も同様に悩んでいる。保護者は、留年や将来の不安からついつい子どもに強く当たり、状況を悪化させる場合もある。

その支援策として、同じ悩みで直面している保護者同士の交流の場が非常に重要だと考えるため、ぜひ検討してほしい。

その支援策として、同じ悩みで直面している保護者同士の交流の場が非常に重要だと考えるため、ぜひ検討してほしい。

その支援策として、同じ悩みで直面している保護者同士の交流の場が非常に重要だと考えるため、ぜひ検討してほしい。

**答** 交流の場も含め、不安や悩みの共有・軽減を図る。

学校と各家庭は継続的な関わりを持つているが、同じ悩みを持つ保護者同士の交流の場の設定については、現在のところ行っていないのが現状で、関係機関の交流会の案内配付に留まっている。子ども総合センターが毎月発行し、地域に配布、各家庭に回覧している「明日もしあわせ通信」にて、適

応指導教室での取組の紹介や子育てに悩む方への

メッセージ、相談窓口の案内等を掲載し、様々な取組を知っていただくことで、必要となったときの一助になればと考えている。また、オピニオンリーダー養成講座でも適応指導教室の取組や現状等を紹介している。

今後は、保護者同士の交流の場の設定も含め、普段の関わりの中で、保護者の思い・考えを傾聴・受容し、不安や悩みの共有・軽減を図りながら、「誰一人取り残さない」「誰一人置き去りにしない」3万人が住み続けられる自治体を目指す、本市の未来を担う教育事業に取り組みたい。

今後は、保護者同士の交流の場の設定も含め、普段の関わりの中で、保護者の思い・考えを傾聴・受容し、不安や悩みの共有・軽減を図りながら、「誰一人取り残さない」「誰一人置き去りにしない」3万人が住み続けられる自治体を目指す、本市の未来を担う教育事業に取り組みたい。



子ども総合センターで毎月発行している「明日もしあわせ通信」



社会貢献活動のための兼業

# 市職員の兼業を促進しては？

平岡 清樹 議員



## (答弁)主体的に地域活動へ参加できる環境整備に取り組む



### 問

公務員は国家・国民・市民のために働く奉仕者としての使命を担っており、原則兼業は禁止とされてきた。

しかし、2018年に政府によって閣議決定された「未来投資戦略2018」の中で、「国家公務員については、公益的活動等を行うための兼業に関して環境整備を進める」という旨の方針が発表された。

人口減少が進む中、地方自治体も生き残りをかけ大胆な改革も必要だと考える。また、職員の働き方改革のさらなる推進に加え、深刻化する担い手不足への対応という観点からも、職員の社会貢献活動のための兼業を促進しては。

### 答

職員が主体的に社会貢献活動に従事することは、本市が抱える課題解決に貢献するとともに、兼業により得た

### ひらおか議員の「もう一言！」

社会貢献活動のためのボランティアといっても、活動費用が全て自費となると、若い世代は二の足を踏むのではないのでしょうか。少額でも一定の報酬があれば、頼む側も頼みやすく、また従事する側も責任を持つため、より質の高い社会貢献活動ができます。ぜひそのような兼業を目指してほしいのです。



知識や経験、ネットワークは、職員本人の仕事に対する能力の向上にも繋がります。これらを公務に生かすことでより良い行政サービスの提供が期待できる。一方で、兼業に集中するあまり、過重労働により職員の健康が損なわれ公務に影響が及ぶなどの心配もあることから、今後、国や先進自治体の事例等を参考にしつつ、職員が公助良俗に従い主体的に地域活動へ参加できる環境整備に取り組みたい。

## 粗大ごみのリユース

### 問

メルカリやその他の民間企業と連携の協定を結び、粗大ごみの中からまだ使用できる物を販売する取組を検討しては。

### 答

まずは粗大ごみの再利用による減量化に努める。

粗大ごみのリユースは、資源ごみと比較して、選別・修繕・保管・販売などに資する専用施設と人員が別途必要となるため、まずは、市民の皆さまにリユースショップやフリーマーケットサイトの利用を推奨することで、粗大ごみの再利用による減量化に努めるとともに、中予圏域2市3町で現在協議が行われている、ごみ処理広域化の枠組みの中で、調査・研究を重ねたい。

### 答

ごみ処理広域化と併せて検討したい。

ンター職員が選別。障がい者就労支援施設に無償譲渡し、同センター内で清掃・補修を行って販売している。この場合はリユース品の売上げは障がい者就労支援施設の収入になるが、障がい者の自立支援と、市の粗大ごみ減量を同時に実現できる取組になる。このような取組も、市民に伊予市のごみ問題を意識していただき、市民一人一人が自身のリユース・リサイクルに取り組みむきかけにしてもらえるのでは。

障がい者の就労支援やごみの減量に加え、市民の皆様の意識醸成の観点からも、大変有用な取組と認識している。今後は、関係する団体等の意見を踏まえ担当部署とも連携し、ごみ処理広域化と併せて検討を加えたい。

問 収集された粗大ごみなどの中から、使用可能なものを清掃セ

南伊予地区に公園を

# 南伊予駅周辺に都市公園設置を！



森川 建司 議員

## (答弁) 都市公園としての開設は 困難である



### 問

本市には、現在、谷上山公園、小さい公園ほか、7つの都市公園があるが、残念ながら、人口7000人の南伊予地区には公園がない。地域住民、特に子育て世代の方から、子どもを安心して遊ばせる公園が近くにほしいという声を聞く。最近、南伊予地区に新築を構えたり、転入してくる子育て世代が増えてきており、公園への需要は、さらに高まりつつある。

過去に公園を設置する検討はあったのか。また、南伊予駅周辺のサイクルステーションに隣接した都市公園の設置を。

### 答

谷上山公園の一部が上三谷地区であるが、そのほかに南伊予地区での検討資料は残されていないことから、検討したかどうかは不明である。南伊予駅周辺に都市公園を開設する場合は、財源の確保が必要となるが、市街化調整区域

で活用可能な交付金は見つかからないのが実情である。また、都市計画事業で開設を目指す場合も、ハードルは高いものになることが想定されるため、都市公園としての開設は困難であると判断せざるを得ない。そのため、まずは、南伊予駅周辺で計画しているサイクルステーションに併設する形での広場整備について検討したい。

### コロナワクチンによる 重篤な副反応への対応

### 問

令和4年6月議会でも取り上げたが、新型コロナウイルスも、ワクチン接種を取り巻く情勢も刻々と変化しており、命に関わるからこそ、変化に対応した行政が求められるとの観点から4点を問う。

- ① 保護者等から市を通じて国に副反応を報告できることを市民に周知し、活用体制を整備しては。
- ② 副反応の実態(死亡者、

重篤者等)を公表しては。

- ③ 副反応、コロナ後遺症で苦しんでいる市民をフォローする態勢を確立しては。

- ④ 乳幼児、児童、生徒のワクチン接種のメリット・デメリットの最新情報を提供するとともに接種を申請制(手上げ方式)に変更しては。

### 答

国・県・市それぞれの役割分担に基づき対応している

- ① 市ホームページを一部見直し、「副反応疑いについて、被接種者や保護者から報告することもできるので、健康増進課までご相談ください」との表記を加えた。
- ② 本市のワクチン接種が昨年7万3000回を数えるが、副反応疑い報告は数件と極めて少数であり、公表した場合、個別の事案の特定に市民の関心が向く恐れもあり、引き続き厚労省ホームページへの案内で対応する。
- ③ 副反応や後遺症から生じる課題解決には、国・

### もりかわ議員の「もう一言！」

全国的に、市の副反応情報を公開する自治体が増えていきます。情報公開が原則であり、引き続き公開を求めています。乳幼児等ワクチンの申請制については220自治体(R4.12.5時点)が採用しています。中長期的な安全性や効果の持続期間が確立されていないワクチンを将来のある乳幼児・児童に打つのは常軌を逸していると言わざるを得ません。引き続き、市に「申請制」を求めています。



県・市それぞれの役割分担があり、特にこの課題は、主として県が行うべき内容であり、専用のコールセンターなどを紹介し、支援に繋げる。

④ ワクチンに関する最新情報を持つ国が最も早く情報発信しており、本市としても厚労省ホームページへのリンクから情報を提供する。乳幼児、小児ワクチン接種の個別案内については、国の示している方法に従って接種券を発送している。感染症予防効果と副反応リスクの両方について説明書を添付して周知しているのでご理解賜りたい。





たにもと議長

議会の行事・活動  
などをお知らせし  
ます！

# 議会からのお知らせ！

## 議会報告会を開催します！

地区名	開催日	時間	場所
郡中地区	令和5年2月19日(日)	午前10時	市役所4階 大会議室
北山崎地区	令和5年2月11日(土)	午前10時	中村地区公民館2階 大会議室
南伊予地区	令和5年2月19日(日)	午前10時	上野地区公民館3階 大会議室
中山地区	令和5年1月27日(金) ※コロナ禍により中止になりました。	午後7時	中山地域事務所
双海	上灘地区	令和5年2月10日(金)	双海地域事務所3階 第1・2会議室
	下灘地区	令和5年2月17日(金)	下灘コミュニティセンター2階 大ホール

どの会場でも参加は自由  
ですので、ご近所お誘い  
合わせのうえ、お気軽に  
お越しください。議員一  
同お待ちしております！

おおの  
議会改革特別  
委員長



※新型コロナウイルス感染症の状況によつては、中止する場合があります。

## 令和4年度 委員会 行政視察報告 先進地から学びそして提言へ！

### 議会運営委員会

【参加委員】



ひの委員長



さがわ副委員長



たなか(弘)委員



たけち委員



たかた委員



ひらおか委員



もりかわ委員

【視察先①】

北海道 登別市

(人口)45,311人  
(世帯)24,173世帯

(令和4年11月現在)

【日程】令和4年11月9日(水)

【調査項目】議会改革の取組について

【研修を終えて…】

登別市議会は、「議会改革度調査2021」で全国2位の実績を持つ。2年ごとに議会活動の検証、課題の抽出、並びに議会基本条例の目的の達成度についての検討を実施するなど、積極的な議会活動を展開しており、本市も見習うべき点が多かった。



議場で研修をさせていただきました。(貴重な経験です)

【視察先②】

北海道 恵庭市

(人口)70,260人  
(世帯)34,881世帯

(令和4年11月現在)

【日程】令和4年11月10日(木)

【調査項目】①議会改革の取組について

②議員提案条例について

【研修を終えて…】

恵庭市議会は、「恵庭市スポーツ振興まちづくり条例」「恵庭市ふるさと産業振興条例」など議員提案による条例を制定していた。また、各種団体等との意見交換会を実施し、より市民との距離を縮めることを掲げて活動しており、本市も参考となった。



恵庭市での視察の様子

### 民生文教委員会

【参加委員】



たかた委員長



かどた副委員長



たけち委員



さがわ委員



むかい委員

【視察先①】

佐賀県 武雄市

(人口)47,700人  
(世帯)18,857世帯

(令和4年11月現在)

【日程】令和4年10月17日(月)

【調査項目】ICT教育、スマイル学習について

【研修を終えて…】

教師の役割が「指導者」から「ファシリテータ」へ変わる必要があり、新しい授業デザインの追及にはICT活用が不可欠であることなど、本市のICT教育の推進に向けての参考となった。



スターバックスが入っている武雄市図書館も視察してきました。

【視察先②】

佐賀県 多久市

(人口)18,341人  
(世帯)7,930世帯

(令和4年11月現在)

【日程】令和4年10月18日(火)

【調査項目】小中一貫教育の取組について

【研修を終えて…】

近年の少子高齢化の中で複式学級やクラブ活動の選択が困難になるなど、効率的な施設運営を図るために進めたようだが、本市にも同様の事例もあり、大変参考となった。



多久市での視察の様子

# きらきら・部活 い〜よ 第5回



よしひさ委員

正副キャプテン  
(男・女)にインタ  
ビューしました!  
(12/19取材)

## 港南中学校 卓球部



部員数43人：男子21人(写真左)・女子22人(写真右)／活動日：平日は4日、土・日いずれかの半日

### ●部活の目標は？

(男子) 3月に仙台で開催される全国大会に出場することです。  
(女子) 初心を忘れず。基礎を怠らなず。

### ●部として大事にしていることは？

(男子・女子) 元気に声を出して挨拶すること。礼儀正しく、時間厳守！そして、雰囲気大切に。

### ●卓球部に入った理由は？

(男子・女子) 体験入部の際、先輩や部の雰囲気が良かったので、入部しました。

★両キャプテンが口をそろえて、部の雰囲気が良いと言っているように、取材をしている時も、部員同士の仲の良さをとても感じました。

### ●チームの良いところは？

(男子) 何事にも一生懸命

真剣に取り組むこと。そして、諦めず、常に上を目指すところです。  
(女子) 先輩・後輩の仲が良い。仲が良いからこそ、お互いの良いことも悪いこともしっかりと言い合えるところです。

### ●高校に入ったら何がしたい？

(男子) まずは勉強！そのうえで卓球を続けたいです。  
(女子) 空手部があったら、やってみたいです。

### ●議会や議員って知ってる？

(男子・女子) 知ってはいるけど、よく分からないです…(笑) 大事なことを審査して決めているところ…ですか？

### ★顧問の先生から一言！

誰からも応援されるいいチームで、勝利を目指してほしいと思います。そして将来、身近な人へ部活動の良さを伝えられ

る人になってほしいと思います。

(男子卓球部顧問 石山先生)  
マナー・モラル・ルールを守って卓球を楽しんでほしいと思います。今のいい雰囲気を忘れず、これからも笑顔で一生懸命に頑張ってください。  
(女子卓球部顧問 中村先生)



練習場であるサブアリーナは、とても広く環境が良いため、部員数が多くても全く問題なく、のびのびと部員がラリーをしています！



おおの委員

## 編集後記

明けましておめでとうございます。うさぎの耳のように小さな市民の声も聞き漏らさないようにしよう！そして、うさぎのように跳ねていこう！と心を新たにしています。

昨年の11月に「防災と議員の役割」というテーマの県外研修に行き、議員-職員-住民のコミュニケーションの大切さを痛感しました。現在、伊予市議会の災害時対応マニュアルを作成中です。今年も進化する「いよ議会だより」を楽しみにしてください。

議会広報調査特別委員会 (委員長) 森川建司 (副委員長) 大野鎮司  
(委員) 田中慎之介 吉久俊介 川口和代 向井哲哉



かわぐち委員